

I 研究経過

平成 23 年度は、活断層評価部会を 2 回、活断層評価部会拡大幹事会を 4 回開催して、研究の推進を図った。部会の経過概要を以下に示す。

【活断層評価部会】

○平成23年度 第1回 活断層評価部会

1. 日 時：平成23年12月19日（月）15:00-18:00
2. 場 所：土木学会A会議室
3. 議 題：
 - (1) 電力共通研究の調査報告（留萌，岩手宮城，鳥取地震震源域）
 - (2) 活断層調査及び評価に関する「実務者の手引き」

○平成23年度 第2回 活断層評価部会

1. 日 時：平成24年2月14日（火）14:00-17:00
2. 場 所：土木学会講堂
3. 議 題：
 - (1) 電力共通研究の調査報告（留萌，岩手宮城，鳥取地震震源域）
 - (2) 活断層調査及び評価に関する「実務者の手引き」

II 成果の概要

平成 21 年度は、「実務者のための手引き」作成にあたり、全体構成、調査及び評価の概略フローをまとめるとともに、各サイトでの活断層等に関する調査実績等の収集及び分析を行った。また、次年度を含めて、より具体的な活断層等の調査・評価手法の検討及び実務者のための手引き作成にあたりサブワーキンググループを立ち上げ、手引き作成のための体制作りを行った。

平成 22 年度は、平成 21 年度の調査結果をもとに、「実務者のための手引き」に関して具体的記載内容の検討、参考となる事例の収集を行い、手引きのドラフト版を作成した。

平成23年度は、平成22年度までの調査結果をもとに、活断層の調査や評価技術に関する具体的記載内容の検討、参考となる事例の収集を行い、「活断層調査・評価技術」として取りまとめた。

また、いずれの年度においても、手引き作成のための基礎資料として、電力共通研究「震源断層評価のための活構造調査手法の確立に関する研究」で実施した岩手・宮城内陸地震、鳥取地震及び留萌の地震に関する調査・研究で得られた成果等について審議し、震源断層評価のための活構造調査手法の高度化を図った。